



味の素ファンデーション「食と栄養」国際助成プログラム（AIN） 2026 年度 助成金応募要項

応募期間：2025 年 6 月 2 日(月)～8 月 31 日(日) 日本時間 23 時 59 分

目次

- 1. プログラムの趣旨…………… P.2
- 2. 助成の対象……………P.2
- 3. 助成期間・助成金額……………P.3
- 4. 申請者の資格…………… P.3
- 5. 選考の基準と選考方法……………P.4
- 6. 助成事業決定および開始後の活動……………P.5
- 7. 公募実施体制…………… P.7
- 8. 応募方法……………P.7

申請書類記入の手引き

- 1. 申請書類……………P.8
- 2. 申請書類の記入について……………P.8

公益財団法人味の素ファンデーション



1. プログラムの趣旨

AIN は、開発途上国における「食と栄養」の国際協力活動を支援し、地域社会の人々の生活の質の向上を目指す助成プログラムです。

各国・地域の自然環境、社会・経済状況、文化などに根ざした「食と栄養」への取り組みは、日々の暮らしの中で繰り返し営まれることにより、一人ひとりの栄養改善にとどまらず、世代や性別を超えて継承され、やがて地域の自信と誇りにつながっていきます。

人々の、地域の、そして地球の持続可能な〈生きる力〉を育む「食と栄養」分野の国際協力活動を、本プログラムを通じて皆様と共に創りあげていければ幸いです。

なお、本プログラムでは、「食と栄養」分野での活動経験がない団体による新たな挑戦も歓迎しています。

皆様からの積極的なご応募を心よりお待ちしております。

2. 助成の対象

(1) 対象となる課題

「食・栄養」分野に関連する課題

- ・「食と栄養」分野の課題解決に向けた主な活動とは、栄養の改善活動および食と栄養を切り口とし、地域の優先課題の解決促進に資する社会的な仕組みづくりのことで。
- ・保健分野については、人々の疾患予防や健康増進につながり、良好な「食と栄養」生活の土台をつくるものである限り対象に含みます。
- ・すべての課題について、社会・文化・宗教的な理由により見解が分かれるような事業に対する助成は、慎重に検討します。

(2) 対象となる活動の内容

「実践活動」

- ・AIN の成果として、事業前後の変化を確認できるようにしてください。
- ・将来的に「実践活動」につながることを期待できる場合は、「教育・教材等開発/提供」や「技術研究」についても対象となります。申請書にその点について記入してください。
- ・食と栄養の課題解決を目指した経済的利益を得る活動については、持続可能な仕組みづくりの手段として受益者にその利益が再分配されるものであれば対象とします。
- ・食材等の物資提供や配布のみで完結する事業は対象外とします。ただし、自立・継続の過程であれば対象とし、計画を申請書に記入してください。
- ・成果結果を専門誌等に投稿する意欲のある実践研究を応援します。

(3) 対象となる国・地域

「中南米、アフリカ、アジア、中東、大洋州（日本を除く）」

- ・事業実施にあたり、安全性の確保に大きな問題がないことを必要条件とします。
- ・特に、応募締切日以降、活動対象となる国および国内の地域において、外務省の海外安全情報（危険情報）により、「レベル3：渡航は止めてください（渡航中止勧告）」または「レベル4：渡航は止めてください（退避勧告）」と発出されている場合は対象外とします。

(4) その他

- ・申請団体が主体的に責任を持って事業実施を行い、活動および予算の進捗のモニタリングを行ってください（カウンターパートへの資金送金に留まらず、定期的に進捗状況を把握し、主体的に活動を進めることを望みます）。
- ・助成事業を動画で紹介していますので、申請の際の参考にしてください。

<https://www.youtube.com/channel/UChy2Sdzo-AHsAfmijv0WF7w/videos>

- ・事業計画作成に際して、JICA の「NGO 等向け事業マネジメント研修」の受講を推奨します。事業の計画・立案、モニタリング・評価を無料で学ぶことができます。

3. 助成期間・助成金額

(1) 助成期間：最長 3 年

- ・原則として、事業実施期間は 4/1-3/31 です。
- ・助成期間が複数年度にわたる場合でも、年度ごとに助成継続の可否判断を行います。

(2) 助成金額：年間上限 300 万円

- ・会計年度は 4/1-3/31 です。
- ・間接費は各年度の助成申請金額の 30%を上限とします。
- ・助成申請金額は申請通りには承認されない場合があります。
- ・物品の寄付や施設の建設のみで完結する事業は対象外です。ただし「建設事業」については、診療所、学校、食事、加工施設などの施設建設が事業目標を達成するための費用の一部、という位置づけの場合は対象として扱うことができますが、建設費は助成申請総額の 50%を上限とします。

4. 申請者の資格

以下の資格を満たす申請者を審査対象とします。

- (1) 原則として、日本に拠点を有する団体であること（日本語でコミュニケーションがとれること）。
- (2) 原則として、非営利団体（法人格の有無は不問）であること。
- (3) 組織を発足させてから 2 年以上の事業実績を有すること。

- (4) 事業を展開するための現地事務所、またはカウンターパートがいること（現地事務所やカウンターパートについては、(1)の資格条件は対象外）。
- (5) 申請事業において、政治的、宗教的活動は類似の行為を含めて一切行わないこと。
- (6) 同一団体への再度の助成については、同じ国または異なる国に関わらず、前回の助成完了後1年以上空いていること（連続助成不可）
- (7) 共同事業体での申請も可とする。但し、以下の条件を満たしていることを必須とする。
- 1) 代表団体を決定し、代表団体から責任者を選出すること。
 - 2) 事業期間中、代表団体・責任者の変更は原則として認めない。
 - 3) AIN 事務局とのコンタクト先は代表団体とし、代表団体が必ず報告書提出等の責任を負うこと。
 - 4) 個々の団体が、申請者の資格(1)～(6)を満たしていること。

5. 選考の基準と選考方法

(1) 選考の基準

以下の基準に沿って、審査を行います。

1) 基本要件として

公益性	目標は社会的に意義が高く、公益性があるか
適合性	AIN プログラムの趣旨に適合しているか
整合性	Outcome(事業目標)⇔Outputs（活動結果）⇔Activities(活動)が目的と手段の論理構造になっているか 詳細は P.10 参照

2) 事業内容として

妥当性	事業目標は受益者ニーズと合致しているか、手法は適切か
有効性	事業の実施によって狙った行動変容や栄養改善が期待できるか
インパクト	事業の実施によって直接的・間接的な効果や直接受益者以外への波及が期待できるか
効率性	投入した資源が有効に活用されるか
持続発展性	本事業の効果が終了後も持続するか
実行能力	目標達成に必要な実行能力（実施体制や人材、ノウハウ、資金会計）があり、リスクへの対応が準備されているか
独自性	当事業/団体でなければない独自性があるか

(2) 選考方法・スケジュール

以下のスケジュールに沿って、選考を行います。

2025 6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2026 1月	2月	3月
公募期間			一次審査（書類）			二次審査 （面談） →内定	事業計画 確認	契約	

1) 一次審査

「食と栄養支援委員会」による書類審査を実施し、助成候補案件を選出します。

審査結果は 12 月末までに、全申請団体へ電子メールにて通知します。

2) 二次審査

一次審査通過団体は、「食と栄養支援委員会」にて面談審査を実施し、採択団体を内定します。

審査結果は翌年 1 月末までに、電子メールにて通知します。

3) その他

採否の理由等、選考に関するお問合せには原則として応じられません。

6. 助成事業決定および開始後の活動

(1) 事業計画の最終確定

内定後、AIN 事務局により事業計画の詳細確認を実施します。食と栄養支援委員会からの助言等の反映や、事業計画の修正を必要に応じて対応いただいた後、最終確定とします。

(2) 契約締結

事業計画の最終確定後、契約書締結に進みます。事業実施団体の代表は（公財）味の素ファンデーション理事長と契約を取り交わし、これに基づいて事業を実施することとします。契約後、事業に関する情報が公表されます。共同事業体申請の場合、すべての団体の代表と契約を取り交わします。

(3) 助成金の支払い

原則として、助成金は単年度ごとの支払いとします。助成年度の 4 月末までに団体の日本口座へ振り込みます。海外口座の場合は要相談となります。

(4) AINによるサポート

課題や進捗状況によって、AINからの助言や専門家の紹介等を行います。

(5) 事業報告

事業実施期間中は年度の間時点、年度終了時点、事業終了時点で報告書を提出していただきます。それぞれの報告書提出後に報告内容に関しての面談を行います。また、事業終了後、食と栄養支援委員会にて報告を実施いただきます。

会計報告書は、年度ごとに予算と実績が分かるよう記入し、実績と紐づけされた領収書のコピー(PDF)を提出していただきます。

(6) 現地視察

原則として、事業の現地視察を行います。現地視察実施時期については、AIN事務局と確認の上、決定します。

(7) 事業評価

事業終了時に、終了時評価をAINと事業団体との共同で実施します。

(8) 報告会・アンケート

事業終了後に、事業団体は事業の報告会への参加やアンケートを依頼される場合があります。

(9) 広報

事業団体が実施したAIN採用事業の経過や成果については、原則AINとしてホームページ、学会、各種記事などで発表されます。

事業団体におけるAIN採用事業の広報時には、味の素ファンデーションの助成及びAINプログラムの助成を受けていることを明示してください。

(10) 助成の休止や中止、助成金の返還

AIN事業の契約期間中、事業の継続に支障をきたす状況にあると判断されたときは、助成を休止または中止する場合があります。助成金の使用用途に問題があった場合、また助成金の残金があった場合は、返還いただく場合があります。

(11) 成果の学会等での発表

事業団体には実施事業の成果を実践活動・実践研究として学会などに発表することを推奨します。

例：

- 1) 日本国際保健医療学会
- 2) 日本栄養改善学会
- 3) International Congress of Nutrition (ICN)

- 4) Asian Congress of Nutrition (ACN)
- 5) グローバルフェスタ JAPAN

7. 公募実施体制

主管：公益財団法人味の素ファンデーション

審査・提言：食と栄養支援委員会

事務局：AIN 事務局

8. 応募方法

(1) 応募期間

2025 年 6 月 2 日（月）～8 月 31 日（日） 日本時間 23 時 59 分まで

(2) 応募手順

1) 応募要項、事業計画書、予算計画書、事業体制の書類を、味の素ファンデーション AIN プログラム ウェブサイト内からダウンロードしてください。

AIN プログラム ウェブサイト: https://www.theajinomotofoundation.org/ain/#flow_requiredData

2) 応募要項に従って書類を準備後、AIN プログラム ウェブサイト内の応募フォームに必要事項の入力・必要資料の添付を行い、応募してください。

応募フォームを送信後、自動返信メールが届きます。受信できない場合は、味の素ファンデーション ホームページの「お問い合わせ」フォームよりご連絡ください。

(3) お問い合わせ先

味の素ファンデーション ホームページの「お問い合わせ」フォームを利用ください。AIN 事務局より返答します。

AIN 事務局：新開・日暮

以上

申請書類記入の手引き

1. 申請書類

申請書類は以下の通りです。②～⑥の書類は PDF 化し、申請時に添付が必要です。

書類名	形式
① 申請書	AIN プログラム ウェブサイト内 応募フォーム
② 事業計画書（指定フォーマット有、要ダウンロード）	Excel→PDF 変換 （サイズ上限 1MB まで） A 3 横 1 ページ
③ 予算計画書（指定フォーマット有、要ダウンロード）	Excel→PDF 変換 （サイズ上限 1MB まで） A 4 縦 1 ～ 3 ページ
④ 事業体制（指定フォーマット有、要ダウンロード）	Word→PDF 変換 （サイズ上限 2MB まで） A 4 縦
⑤ 団体の活動報告書（直近 2 年間分） 共同事業体申請の場合、個々の団体分を添付	PDF （サイズ上限 2MB まで） 1 ファイル
⑥ 団体の事業計画書（最新 1 年間分） 共同事業体申請の場合、個々の団体分を添付	PDF （サイズ上限 1MB まで） 1 ファイル

2. 申請書の記入について

申請は、味の素ファンデーション AIN プログラム ウェブサイトから応募ください。記入の途中で保存はできませんので、事前に申請内容を準備することを推奨します。

申請者基本情報

*** 事業担当責任者が申請してください**

（共同事業体申請の場合、個々の申請者基本情報を記入いただきます）

- ・申請団体名（記述：日本語 40 文字以内）
- ・申請者
- ・メールアドレス
- ・連絡先電話

1. 申請事業概要

1-1.事業名（記述：日本語 40 文字以内）

1-2.実施国・地域（対象となるすべての地域を記入してください）

1-3.東京から現地への行き方

1-4.事業の目的（記述：日本語 200 文字以内）

もし、大きな事業の一部を申請事業が担う場合は、その旨も記入してください。

1-5.活動カテゴリー

取り組む栄養課題、受益者のライフステージ、協働領域をそれぞれ選択してください(複数選択可能)。

1-5-1.取り組む栄養課題

①低栄養・微量栄養素欠乏

②過栄養・NCDs

③その他（記述）＊

＊その他の事例/病気、感染症、障がい起因の栄養課題 など

1-5-2.受益者のライフステージ

①最初の 1,000 日（妊娠期・授乳期・新生児期・乳児期）

②幼児期、学童期、思春期

③成人期・高齢期

1-5-3.協力・連携領域

①保健

②食料・農業

③水衛生

④教育

⑤社会保障

⑥その他（記述）

1-6.事業の概要（記述：日本語 1000 文字以内）

主な活動の内容を、簡潔に記入してください。

1-7.事業の背景と必要性（記述：日本語 1000 文字以内）

国や対象地域の状況や課題、地域や受益者のニーズを明らかにし、申請事業の必要性・重要性等について記入してください。また、AIN との適合性にも触れてください。

1-8.事業の SDGs への貢献（任意記述：日本語 200 文字以内）

申請事業が SDGs のゴールにどのように貢献するか、記入してください。

1-9.治安状況と考えられるその他のリスクへの安全管理対策

・治安状況の概説とそれに対する安全管理対策

・事業の運営・管理上のリスクとその対策

・感染症、天災、政治的影響等、考えられるその他のリスクと対策

1-10.事業終了後の効果持続に向けた計画

事業終了後も事業の成果や効果が、技術的、組織的、財務的に、対象地域の人々の自助努力によって持続されるよう、事業期間内に実施する取組みや工夫の計画について記入してください。また事業終了後も事業継続の予定があるのであればその事業目標を、また事業終了の予定があるのであれば、本事業の効果を持続的にどう維持していくかを含め地域が主体となり目指す姿を記入してください。

- 1-10-1.技術面 (記述：日本語 200 文字以内)
- 1-10-2.組織面 (記述：日本語 200 文字以内)
- 1-10-3.財務面 (記述：日本語 200 文字以内)
- 1-10-4.その他 (記述：日本語 200 文字以内)

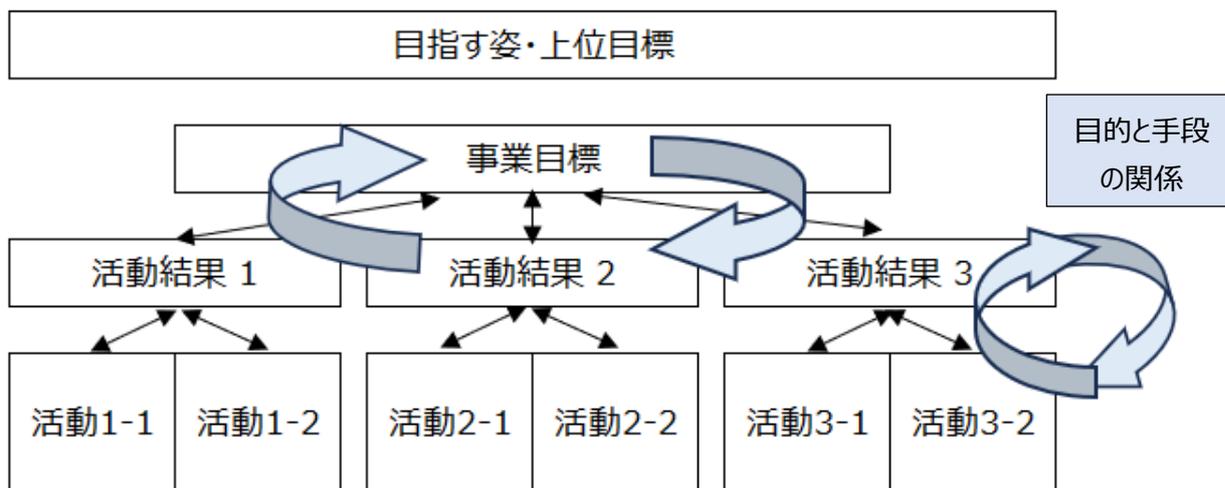
2. 事業計画

「事業計画書」を以下の手順で作成してください。

- (1) 目指す姿・上位目標の設定
- (2) (1) に対する事業の「事業目標」と「対象者」の設定 (事業受益対象者とその人数)
- (3) (2) に必要な「活動結果」を設定
- (4) それぞれの達成度合いを定量的に確認する「指標」および「測定方法」を設定
- (5) 目標達成の為に必要な「活動」を記入

・受益者と間接受益者

受益者 (誰・何人)、間接受益者 (定義・推定人数 * 根拠と共に)



3. 予算計画

「予算計画書」を以下の内容で作成してください。

- ・申請事業に必要な経費総額
- ・当財団への助成申請金額
- ・内訳：必要経費と財源の詳細
 - ①直接経費

事業実施に関わる直接的経費

栄養士等専門家に関わる費用

②間接経費

・人件費（専門家以外の人件費）

・管理運営費（G&A）

・旅費

<注意事項>

・間接経費：各年度の助成申請金額の 30%を上限とします。

・建設費、設備費：当財団への助成申請金額総額の 50%を上限とします。

・通貨：予算計画書は日本円で作成してください。予算計画書内に行追加を行い、換算レートと現地通貨を記載頂いても結構です

・他の助成を受けている場合は、助成機関名、内容、金額、期間を記入してください（申請中の助成も含まれます）。

4. 事業体制（実施体制、申請団体概要、カウンターパート概要）

「事業体制」を以下の内容で記入してください。

4-1.事業実施体制

4-1-1.実施体制図：事業に従事するスタッフならびにカウンターパートの役割や人数、体制、現地関係者（地域行政、住民グループ、現地 NGO 等）との関わりについて、体制図で分かりやすく記入してください。

4-1-2.担当責任者（共同事業体申請の場合は、代表団体から選出する責任者名を記入してください）

4-1-3.栄養専門家の参加予定

4-2.申請団体概要（共同事業体申請の場合は、個々の団体情報を記入してください）

4-2-1.団体名

4-2-2.所在地

4-2-3.代表者

4-2-4.団体概要

4-3.カウンターパート・現地事務所の概要（必要あれば）

4-3-1.申請団体とカウンターパートとの関係：関係の成り立ち、今までの協同事業実績など、関係性を記入してください。

4-3-2.団体名

4-3-3.代表者

4-3-4.担当責任者

4-3-5.団体概要

5. 団体の活動報告書（直近 2 年間分）

申請団体の直近 2 年間分の活動報告書を添付してください。

共同事業体申請の場合は、個々の団体の直近 2 年間分の活動報告書を添付してください。

6. 団体の事業計画書（最新1年間分）

申請団体の最新事業計画書を添付してください。

共同事業体申請の場合は、個々の団体の最新事業計画書を添付してください。

7. 事業関連事項

7-1. 団体として目指す姿と本申請事業に関して（任意記述）

活動国・地域における、団体としての全体中長期プラン（食と栄養のみに関わらず）と、今までの活動、および、本申請事業が中長期プランのスケジュールの中で、どのステージに位置するのかを記入してください。また、関連して過去に他助成からの助成実績があれば、記入してください。

共同事業体申請の場合は、個々の団体の位置づけおよび実績等を記入してください。

7-2. AIN 助成歴

有無を選択してください。

過去に AIN 助成を受けたことがある場合は、直近 3 事業の助成年度を記入してください。

共同事業体での申請の場合は、個々の団体合わせて直近 3 事業の助成年度を記入してください。

（例）団体名 ○○年助成開始

7-3. AIN 申請歴

有無を選択してください。

過去に AIN に申請をしたことがある場合は、直近 3 事業の助成年度を記入してください。

共同事業体での申請の場合は、個々の団体合わせて直近 3 事業の助成年度を記入してください。

（例）団体名 ○○年申請

7-4. その他、特筆すべき事項（自由記述）

自由に記入してください。

7-5. 当プログラムを知った媒体

以下の選択肢から選んでください。その他のサイトやメーリングリスト等、イベント、知人や友人から、その他を選択した場合は、具体的な内容を記入してください。

- ・味の素ファンデーション ウェブサイト
- ・AIN プログラム Facebook
- ・その他のサイトやメーリングリスト等
- ・イベント
- ・知人や友人から
- ・その他

以上